

詩『朝の坂』

まだ冷たい手すりに
朝日が細くのびている
ぼくは鞆を持ち直し
坂の上へ歩き出す

詩『雨あがり』

水たまりの空を
自転車のタイヤが割っていく
雲のすき間から
青が少しずつ広がった
ぼくも少し顔を上げた

情景を読み取る

問1 基礎
上の詩『朝の坂』を読みなさい。この詩に描かれている時間帯を答えなさい。

解答：朝
補足：『朝日』という言葉から判断できる。

問2 基礎
上の詩『雨あがり』を読みなさい。描かれている天気の変化として最も適切なものはどれですか。ア 雨が降り始めた イ 雨がやみ空が晴れ始めた ウ 雪が降り始めた

解答：イ
補足：『水たまり』『雲のすき間』『青が少しずつ広がった』から、雨上がりに晴れていく場面とわかる。

心情を読み取る

問3 標準
詩『朝の坂』の『鞆を持ち直し／坂の上へ歩き出す』から読み取れる気持ちとして最も適切なものはどれですか。ア 坂の上へ向かって進もうとする気持ち イ 坂から逃げ出したい気持ち ウ 誰かに怒っている気持ち

解答：ア
補足：鞆を持ち直して自分から坂の上へ歩き出す動作が、先へ進もうとする様子を表している。

問4 標準
詩『雨あがり』の最後の二行から感じられる気持ちとして最も適切なものはどれですか。ア 空が明るくなるにつれて気持ちも上向いていく イ 雨が強くなり不安になる ウ 夜が近づき眠くなる

解答：ア
補足：『青が少しずつ広がった』あとに『ぼくも少し顔を上げた』とあるため、空の変化とともに話し手の気持ちも上向く様子が読み取れる。

表現の効果

問5 標準
詩『雨あがり』の『水たまりの空を／自転車のタイヤが割っていく』という表現の効果として最も適切なものはどれですか。ア 水たまりに映った空がタイヤによって崩れる動きを印象的に表す イ 自転車が本当に空まで飛んでいく様子を表す ウ 水たまりが凍って割れる様子を表す

解答：ア
補足：水面に映った空がタイヤの通過によって崩れる様子を『割っていく』と表している。

問6 標準
詩『朝の坂』の『朝日が細くのびている』という表現から感じられる様子として最も適切なものはどれですか。ア 朝の光が差し込んでいる イ 真夜中で周囲が真っ暗である ウ 大雨で前が見えない

解答：ア
補足：朝日の光が細長く差している情景を表している。

情景と心情を結ぶ

問7 標準
詩『朝の坂』で、話し手が新しい一日に向かって進み始めたことがわかる表現を一つ抜き出しなさい。

解答：坂の上へ歩き出す
補足：『鞆を持ち直し』も前向きな動作だが、進み始めたことを最も直接示すのは『坂の上へ歩き出す』である。

問8 標準
詩『雨あがり』について、情景と話し手の気持ちの変化を三十字程度で書きなさい。

解答：雨がやんで青空が広がるにつれ、ぼくの気持ちも少しずつ上向いていく。
補足：『青が少しずつ広がった』『ぼくも少し顔を上げた』が根拠。情景と気持ちの変化の両方をまとめる。